

令和2年度 箱根町町政モニター第1回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

地域福祉について

○ 調査理由

箱根町では、住民や関係団体、行政等が協力しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉計画を策定し、様々な事業を展開していますが、第3次計画期間(令和3年度～令和7年度)を迎えるにあたり、計画策定の基礎資料とするため、皆様の福祉についての考え方やご意見等を伺いました。

○ 回答期間

令和2年9月10日(木)～23日(水)

○ 対象者

箱根町町政モニター 45人

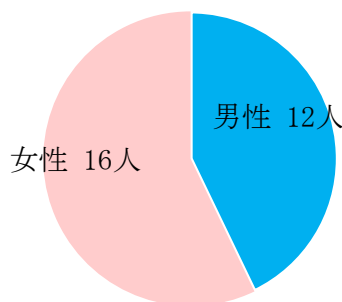
○ 回答者数(回答率)

28人(約62.2%)

○ 回答者の基本属性

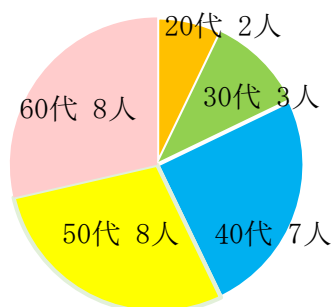
性別	回答者数	割合
男性	12	42.9%
女性	16	57.1%
合計	28	100.0%

【性別】



年齢	回答者数	割合
20代	2	7.1%
30代	3	10.7%
40代	7	25.0%
50代	8	28.6%
60代	8	28.6%
合計	28	100.0%

【年齢】



### ○ 地域との関わり方について(質問[2],[3],[5],[10])

住みよさについては、約6割の方が「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答しています。近所付き合いについては、「助け合うことが大切」、「協力することは当然」との回答が82.2%と高い割合を占めており、近隣での助け合いの意識が高いことが伺えます。

その一方で、日常の困りごとを相談する相手は、「家族・親族」、「友人・知人」という回答が大半を占め、「近所の人」という回答は少なく、近隣での付き合いは適切な距離感を保っている方が多いことが分かります。

それに関連して、行政が優先して取り組むべきことについての質問に「福祉サービスに関する情報提供の充実」、「地域での見守りや助け合い」と回答する方が多かったことから、支援を必要とする方と相談される方が悩み事を抱え込まないように、行政としては地域と連携しながら相談しやすい体制づくりに努めるとともに、公的機関等の情報提供の充実を図っていく必要があります。

### ○ 困りごととその課題や対応等について(質問[4],[6],[7],[9],[10])

日常生活の悩みについて、「子育てや教育に関すること」が「健康に関すること」に次いで多く、それに関連して、地域課題では「教育や将来のことの相談環境の整備」が多く、地域で取り組むことが必要と思うことでは、「子育て相談や預かり等の支援」という回答が多くありました。

さらに、地域と行政の積極的な連携で改善を図れることについては、「地域における子育て支援の充実」という回答が多く、地域と行政が協働して対応することで子育てしやすい環境を整えることができると感じていると伺えます。

また、今回の調査では年齢が60代までの方が対象となっていることから、高齢の方などに對する見守り意識が高いことが分かる結果が次のとおり出ています。

- ・ 地域が協力して取り組んでいくことが必要と思うこと  
→ 高齢者や認知症の方等への見守りや生活支援 (15.2%)
- ・ 地域と行政の積極的な連携で改善を図れること  
→ ひとり暮らし高齢者などの見守り (17.8%)



## ○ 災害時の対応について(質問[4],[6],[7],[10])

昨今の自然災害事情から、災害時の避難・救助や防災対策への関心が高く、日常生活での不安と地域課題については、「災害に関すること」と「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」という回答がそれぞれ14.1%、地域で取り組んでいくことが必要だと思ふことについては、「災害時の避難・救助や防災対策」が27.3%と最も多くなっています。

さらに、地域の協力に加え、住民と町が連携することで改善を図ることができると思ふことについては、「災害の際の避難支援」、「防災や防犯の情報提供を円滑に行える体制づくり」がそれぞれ同率で21.9%と多く、また、これからの福祉政策で最優先して取り組むべきことは、「災害時に避難支援が必要な人への対策」という回答が17.8%で最多でした。

自然災害は、時と場所を選ばず発生するため、行政の初動体制に先んじて地域での協力（共助）が重要であると考えている方が多いことと、地域と行政が連携することで、地域防災力を効果的に向上させることが求められています。



## ○ 総括

今回の調査では、充実した地域福祉の推進のために皆様のご意見をお伺いさせていただきました。少子高齢化や複雑化する環境の中で一人ひとりが抱える課題は多方面にわたっているケースが多く、多様化する課題を解決していくために、住民の方と地域と行政が協働し、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮者支援、災害支援など、分野ごとの施策に加えて、各分野を横断する支援体制づくりが求められています。

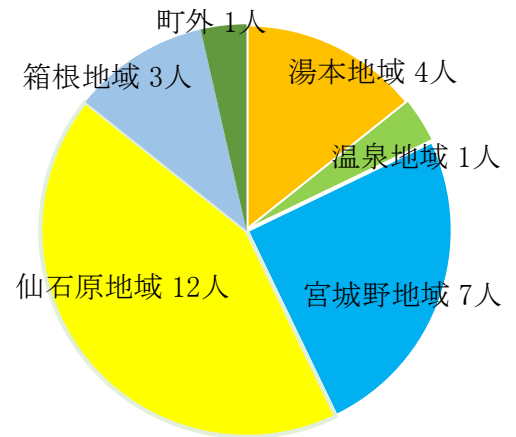
アンケート結果では、9割近くの方が「行政と住民の方が協力し合うべき」と回答されています。「自助」、「共助」、「公助」、それぞれの特徴を活かして、住みなれた町で誰もが自分らしく暮らすことができる町づくりの実現を目指し、町全体で協働し、地域福祉の充実を目指していきます。



### 3 アンケート集計結果

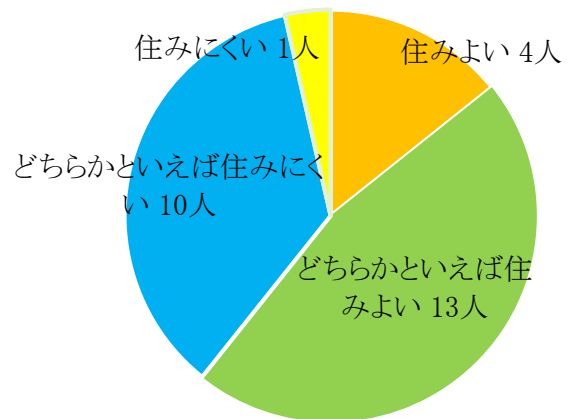
[1] あなたのお住まいの地域はどちらですか。

選択項目	回答数	割合
1 湯本地区(湯本・湯本茶屋・塔之澤・畑宿・須雲川)	4	14.3%
2 温泉地域(大平台・宮ノ下・底倉・小涌谷)	1	3.6%
3 宮城野地域(宮城野・木賀・強羅・二ノ平)	7	25.0%
4 仙石原地域	12	42.8%
5 箱根地域(元箱根・箱根・芦之湯)	3	10.7%
6 町外	1	3.6%
7 わからない	0	0.0%
合計	28	100.0%



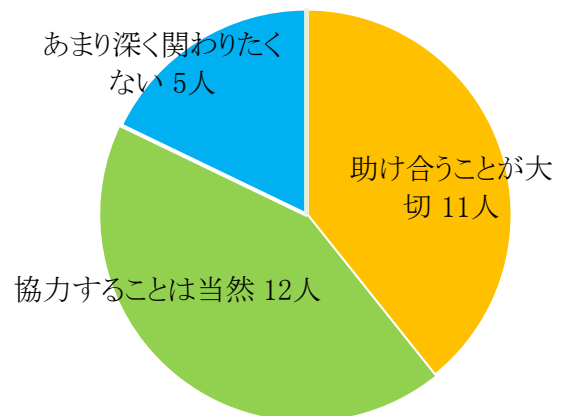
[2] あなたは、現在の箱根町の住みよさをどのように感じていますか。

選択項目	回答数	割合
1 住みよい	4	14.3%
2 どちらかといえば住みよい	13	46.4%
3 どちらかといえば住みにくい	10	35.7%
4 住みにくい	1	3.6%
合計	28	100.0%



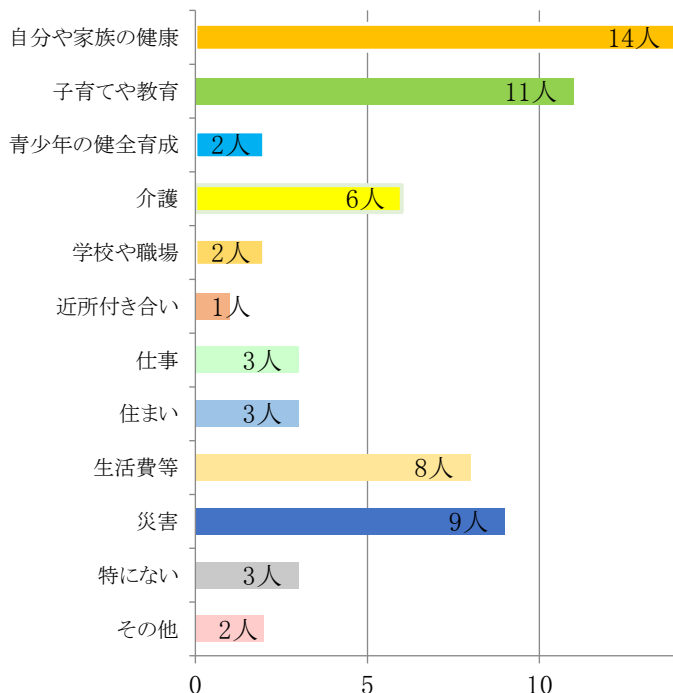
[3] あなたの近所付き合いに対する考え方に、最も近いものはどれですか。

選択項目	回答数	割合
1 助け合って暮らしていくことが大切だと思う	11	39.3%
2 近所であいさつしたり、協力することは当然だと思う	12	42.8%
3 あいさつ程度はするが、あまり深く関わりたくない	5	17.9%
4 近所付き合いはわずらわしいので、あまりしたくない	0	0.0%
合計	28	100.0%



[4] あなたは、日常の生活の中で、主にどのような悩みや不安をお持ちですか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 自分や家族の健康に関すること	14
2 子育てや教育に関すること	11
3 青少年の健全育成に関すること	2
4 介護に関すること	6
5 学校や職場での人間関係	2
6 近所付き合いに関すること	1
7 仕事に関すること	3
8 住まいに関すること	3
9 生活費等の経済的なこと	8
10 災害に関すること	9
11 特にない	3
12 その他	2
合計	64

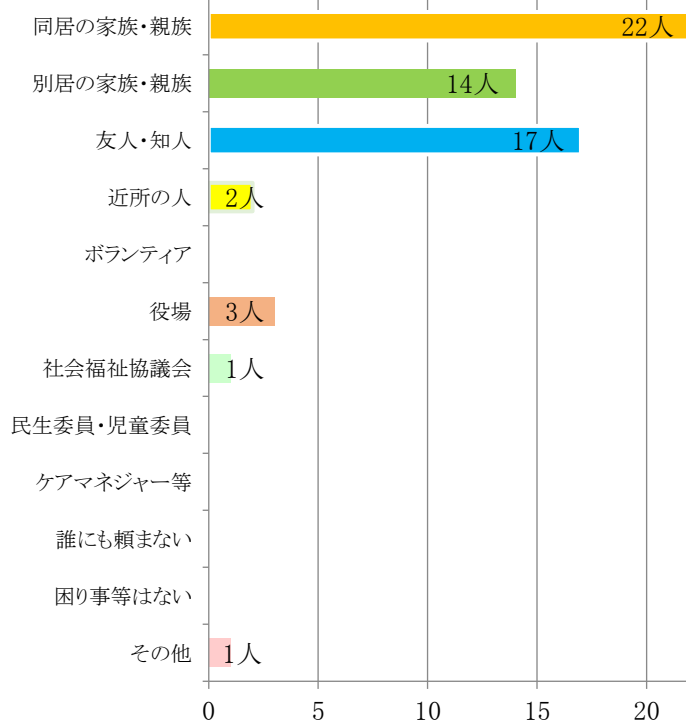


「12 その他」を選択した方の意見

- ・ 外国人による不動産土地買い占め。
- ・ 近隣所有地に客観的に見て廃棄物としか思えない物を大量に搬入して堆積し、景観を乱している箇所があり、廃材等もあり自然発火等で火災が発生しないか不安である。

[5] 日常の生活での困ったことについて、誰(どこ)に頼んだり、相談したりしますか。または、頼んだり、相談したいですか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 同居の家族・親族	22
2 別居の家族・親族	14
3 友人・知人	17
4 近所の人	2
5 ボランティア	0
6 役場	3
7 社会福祉協議会 (地域包括支援センターを含む)	1
8 民生委員・児童委員	0
9 ケアマネジャーやホームヘルパー等	0
10 誰にも頼まない、相談しない	0
11 困ったことや悩み、不安はない	0
12 その他	1
合計	60

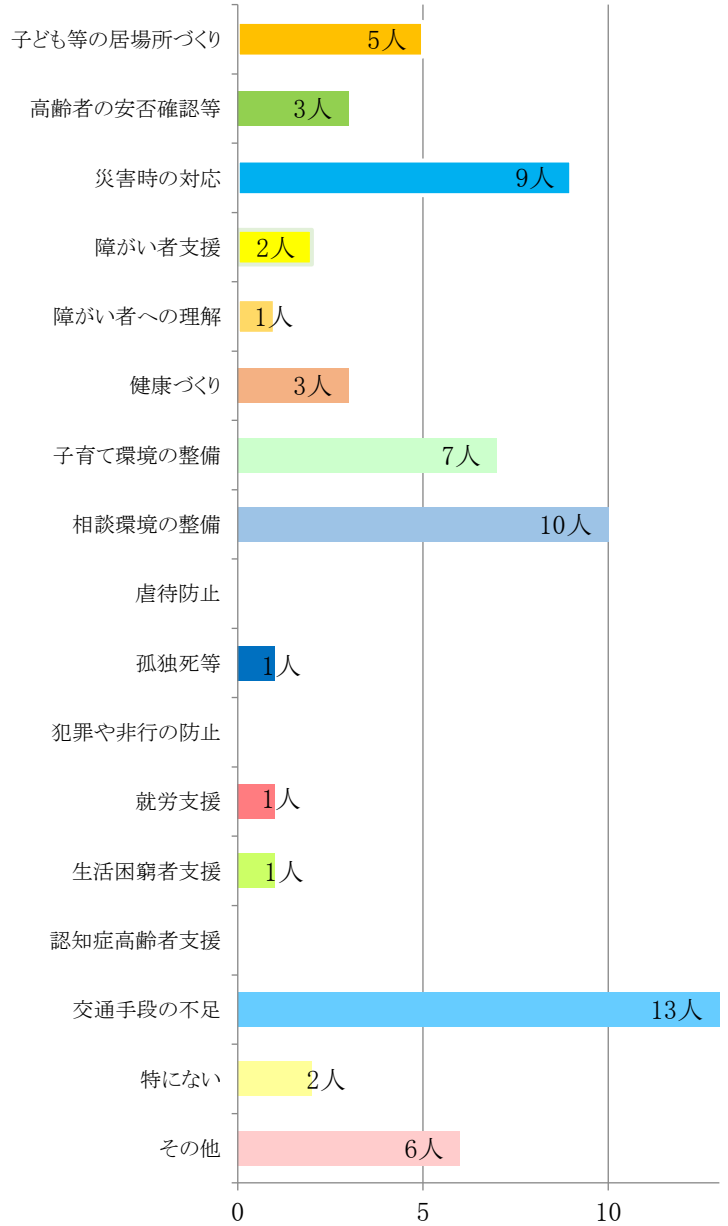


「12 その他」を選択した方の意見

- ・ 偏向のない情報を共有できる友人知人。

[6] お住まいの地域で抱えている地域課題はありますか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 子ども、障がい者、高齢者の居場所づくり	5
2 高齢者の安否確認や見守り	3
3 災害が発生した際の安否確認や避難誘導	9
4 障がい者が地域で自立して生活するための支援	2
5 障がい者に対する地域の理解	1
6 健康寿命を延ばすための健康づくりへの取り組み	3
7 働きながら子どもを育てることができる環境の整備	7
8 子ども教育や将来のことを相談する環境の整備	10
9 子ども、障がい者、高齢者への虐待を防止する取り組み	0
10 孤独死、引きこもり問題	1
11 犯罪や非行の防止	0
12 仕事に就けない人への就労支援	1
13 生活困窮者への支援	1
14 認知症高齢者への支援	0
15 買い物や通院の際の交通手段の不足	13
16 特にない	2
17 その他	6
合計	64

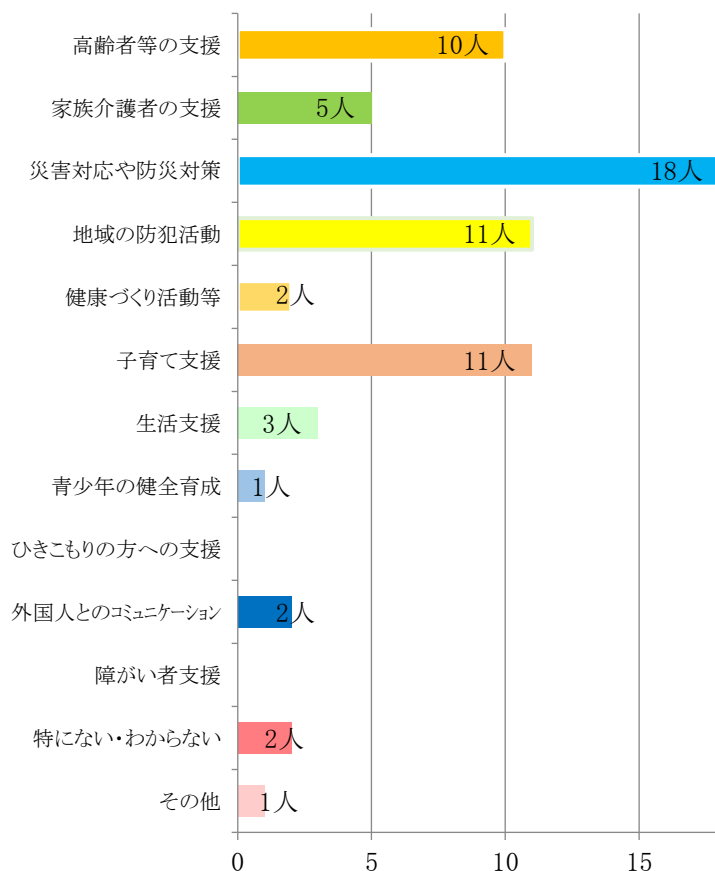


「17 その他」を選択した方の意見

- ・ 日常商業施設の不足。地域活性化。
- ・ 福祉ではないが、狭い道路を猛スピードで駆け抜ける自動車や騒音をまき散らすオートバイ。
- ・ 質問4の環境破壊街区対応。
- ・ 観光を支える人材の確保、育成の取り組み。
- ・ 湯本の渋滞問題、少子高齢化。
- ・ 病院、スーパー、生活に必要な場所が無くて困ります。

[7] あなたは、どのような活動を地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要だと思いますか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 高齢者や認知症の方、障がいのある方への見守りや生活支援	10
2 高齢者や障がいのある方の家族介護者の支援	5
3 災害時の避難・救助や防災対策	18
4 地域の防犯活動	11
5 健康づくり活動や介護予防の活動	2
6 子育ての相談や預かり等の子育て支援	11
7 生計困難者への生活支援	3
8 青少年の健全育成	1
9 ひきこもりの方への支援	0
10 外国人とのコミュニケーション	2
11 障がいのある方への支援	0
12 特にない・わからない	2
13 その他	1
合計	66

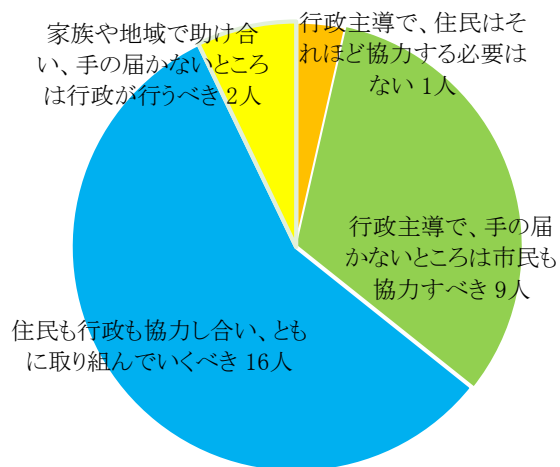


「13 その他」を選択した方の意見

- ・ 町への愛着、愛国の意識高揚から。民度を高めれば自ずと地域の絆は深まるはず。

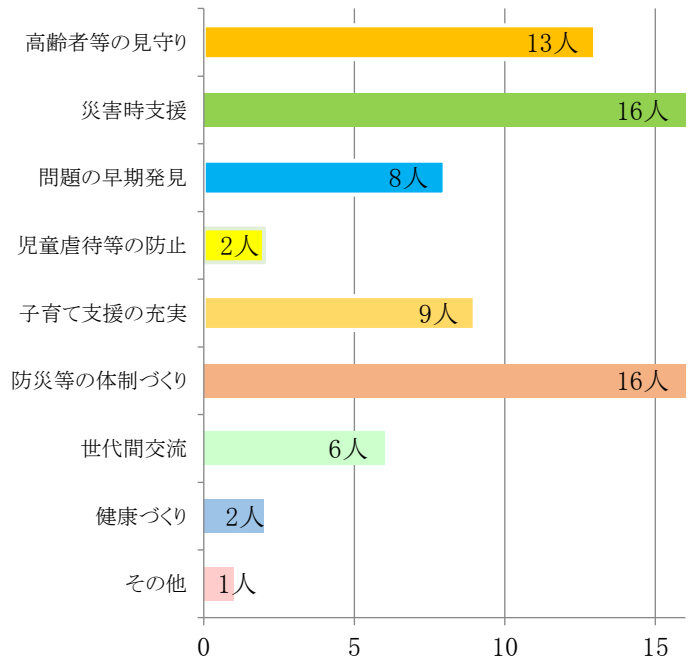
[8] 地域での福祉活動を推進していくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。

選択項目	回答数	割合
1 行政が主導で取り組み、住民はそれほど協力する必要はない	1	3.6%
2 行政が主導で取り組むが、手の届かないところは市民も協力すべき	9	32.1%
3 住民も行政も協力し合い、ともに取り組んでいくべき	16	57.1%
4 まずは、家族や地域で助け合い、手の届かないところは行政が行うべき	2	7.2%
5 その他	0	0.0%
合計	28	100.0%



[9] 地域住民と行政が積極的に連携することで改善を図ることができると思うのは、どのようなことだと思いますか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 ひとり暮らし高齢者などの見守り	13
2 災害の際の避難支援	16
3 地域での声掛けなどによる問題を抱える世帯の早期発見	8
4 見守りによる児童虐待、高齢者虐待、DVの防止	2
5 地域における子育て支援の充実	9
6 防災や防犯の情報提供を円滑に行える体制づくり	16
7 地域における世代間交流	6
8 地域における健康づくり	2
9 その他	1
合計	73

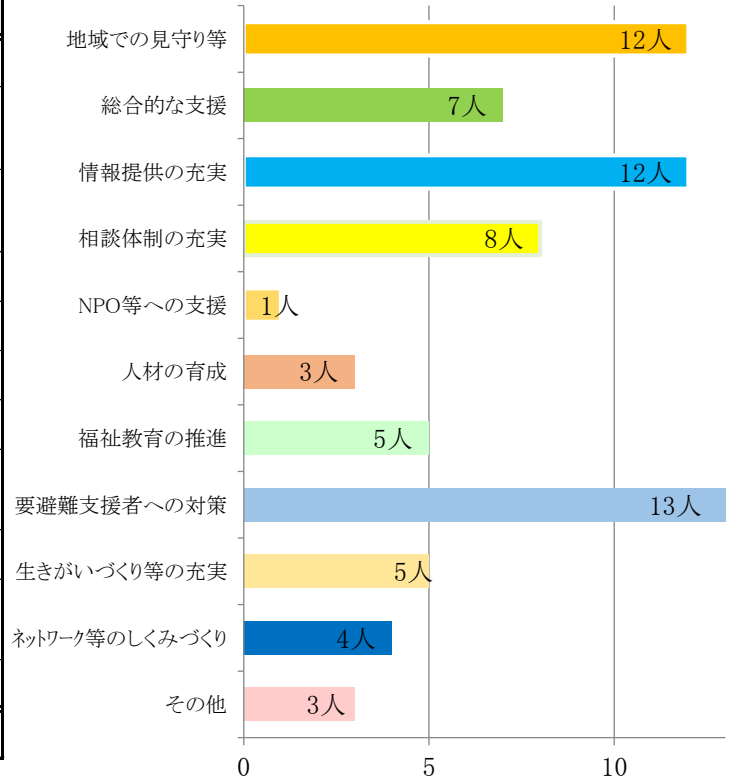


「9 その他」を選択した方の意見

- ・ 依存しない健全な地域共存のあり方。

[10] これからの行政が福祉政策を進めるために、最も優先して取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 地域での見守りや助け合い	12
2 社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	7
3 福祉サービスに関する情報提供の充実	12
4 身近で相談できる体制の充実	8
5 NPOやボランティア活動への支援	1
6 地域福祉活動を推進する人材の育成	3
7 小中学校や地域での福祉教育の推進	5
8 災害時に避難支援が必要な人への対策	13
9 生きがいづくり、健康づくり事業の充実	5
10 関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり	4
11 その他	3
合計	73



「6 その他」を選択した方の意見

- ・ 本当に困窮している人の見極めと具体的且つ的確な支援。
- ・ 夜間保育、学童の根本的な拡充、他にも沢山ありすぎ。
- ・ スマホ等による情報収集、健康確認等への取り組み。